やさしさパワーアップ大作戦

桜舞館小学校　三年　日巻　吏桜

私は、総合的な学習の時間に「やさしさパワーアップ大作戦」という学習をしました。その中で、たくさんの人と出会い、思いやりについて学びました。

オレンジ教室では、キャラバンメイトの方からにん知しょうについて教えていただきました。にん知しょうは、だれでもなるかもしれない病気です。自分のことも分からなくなると、かなしいと思いました。でも、すべてをわすれるわけではなく、あみ物などおぼえていることもあると知りました。身近な人がにん知しょうになったときは、同じことを聞かれてもやさしく答えたり、最後まで話を聞いたりしたいと思いました。

十月には、高れい者体験と車いす体験をしました。車いすに乗るのははじめてなので、かたむいたときは、少しどきどきしました。

坂道では、乗っている人に「坂を上がりますよ。」と声をかけるなど、安心してもらうことが大事だと分かりました。わたしも、友だちにやさしく声をかけてもらい安心できました。

十二月には、竹里館をほう問しました。お年よりの方に元気になってもらうために、ダンスを練習し、メダルを作りました。ほう問すると「ようこそ。」「かわいいね。」と声をかけてくださり、ダンスのときは手をたたいてよろこんでいらっしゃいました。

中には、なみだを流す方もいて、おどろきました。発表後にプレゼントまでいただき、私たちの方が元気をもらったと感じました。

この学習で、相手の気持ちを思いやることを学びました。相手がよろこぶことを考えて行動し、相手が笑顔になると、自分もうれしくなります。みんなが、「笑顔ではじまり笑顔で終わる」ことができたので、幸せな気持ちになりました。これからは、自分でも「やさしさパワーアップ大作戦」を続け、自分もみんなも笑顔になりたいです。

【先生のコメント】

「やさしさパワーアップ大作戦」は、大成功でしたね。思いやりは、一方通行ではなく、相手の笑顔や感謝の言葉で自分たちにも返ってくることが実感できました。

日頃から困っている友達の力になったり、優しい言葉をかけたりしてくれる吏桜さん。その温かい心で、これからも笑顔をたくさん増やしてくださいね。

人権擁護委員による人権相談（無料）
～ひとりで悩んでいませんか～

【特設人権相談所】

■日時　3月18日㈬ 13時～16時
■場所　山川市民センター
■相談内容　いじめ、体罰、部落差別、女性差別、外国人の問題、家庭内（夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など）、借地借家、相隣間のもめ事や悩み事など

【女性相談所】

■日時　3月12日㈭ 10時～15時
■場所　福岡法務局柳川支局
■相談内容　原則として女性からの相談（夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクハラ、パワハラおよびストーカー行為など）
※女性の人権擁護委員が相談に応じます。

【常設人権相談所】

■時間　8時30分～17時15分（土、日、祝日を除く）
■場所　福岡法務局柳川支局
■相談担当者　法務局職員、人権擁護委員
■相談電話番号（℡0570・003・110）

問 福岡法務局柳川支局（℡72・2640）

高橋光さん

本市を拠点に、みやまの食材を使ったサンドイッチや惣菜、ドーナツの販売を行う高橋さん。3年前に開業し、イベントやマルシェに出店しながら、みやまの食材の魅力を各地へ届けている。

【人と人が集える場所を】

熊本県出身で、本市に来たのは15年前。来た当初は知り合いが少なかったが、趣味を通じて少しずつ人とのつながりが広がり、やがて「みやまで挑戦したい」という思いが芽生えていった。

居酒屋を営む母を見て育ち、幼い頃から「自分も飲食店を開きたい」という夢を抱いていた高橋さん。カフェ巡りが趣味で、訪れた店の店主に自分の夢を話すこともあった。

メインメニューとしてサンドイッチを選んだきっかけは、父の病気だった。体調が悪く食事が十分に取れない父のために、気軽に手に取れて、野菜や肉などの栄養が摂れるものを――そう考え、たどり着いたのがサンドイッチだった。「父が『おいしい』と言って食べてくれたときの喜びは、今でも忘れられません。」と、当時を振り返る。

そんな高橋さんの目標は、自分が楽しみながら、人と人が集える場所をつくること。そこに人が集まり、会話が生まれ、再会や新しい出会いが生まれる。そんな空間を自分の手で形にしたいという思いが、今の活動の原点になっている。

【自分にしかできないことを探して】

現在は、仕入れから仕込み、販売までを自ら中心となって手がける高橋さん。イベント出店時は、早朝から夜まで作業が続き、数百個の商品を作ることもあるそう。「今日は何を作ろうかなと考えたり、コツコツ仕込んだりするのが好き」と、没頭する時間そのものが楽しいと話す。

「『また食べたくて来たよ』『顔を見に来たよ』と言ってもらえる事がとても嬉しく、やりがいに繋がっています。美味しいものを作ることはもちろん、『この人だから』を大切に、自分にしかできないことは何かを探し続けることが大事だと思います。これからも、自分自身が楽しみながら、食を通して人と人をつなぐ場所を作っていきたいです。」

清水山荘で開催された「まえむきマルシェ」にて

地域のイベントに積極的に参加する高橋さん。声がかかればできる限り足を運び、市内はもちろん、県外の催しにも出店しているそう。

▲ 右から4番目が高橋さん